



新しい豊橋・東三河のリーダーを育てる「吉田志塾」5月始動！1期生募集開始！！

人をつくり、時代をつくり、地域を変え、国を変え、世界を変えていく。
共生き時代を生きる新しい起業家を創っていききたい。

覇道から王道へ日本を知り地域を知り日本人であることを自覚したうえで、真にこの国の未来を地域から新しいリーダーを生み出していく。アイデンティティ

イは東三河、この地域に生まれた、この地域に育った、過去にこの地域から巣立っていった、現在この地域に生活する人々の中から企業家のみならず地域マネ

ジメント、あらゆる業種でリーダーとして活躍できる人材を根本から育てる吉田志塾をめざしたい。行政と経済、地域づくりは常につながっている。生活もそこにはある。共生き社

会の実現にむかい、過去の日本に学び、考え方に学び、そこに参加する人々の個性を最大限に生かして、ひとり一人の夢が、ビジョンがこの地域で小さなシードとして生まれてい

く。そして、それは日本各地に波のように広がり、やがて世界を共生き社会へと変えていく。それは、そんなに遠い将来ではなく、限りなく近い未来にある。現在はそのターニングポイント2025年。

学問ではなく行動学であり実践塾である。「吉田志塾」では、共に学びあい、泥だらけになりながらも、仲間として一人ひとりめざす「こころざし」とを掲げている。

2025年2月3日「吉田志塾」塾長 加藤 政実 期間 2025年5月～2026年3月 1泊2日 全10回 定員10名 ※詳しくは案内リーフレットをご覧ください。

問合せ/吉田志塾
TEL 0532-52-4315
E-mail
m.kato@wacnet.jp



豊橋・東三河まちづくりデザイン会議 みんなで考えみんなでつくろう「まち」

第9回3月15日(土) ゲストスピーカー 鈴木ともこ氏 (豊橋市会議員) 私どもが主催する「とよはし音楽祭」の審査員を

務める鈴木ともこ氏が育児、子育て、教育など子どもたちの未来について語る。タイトルは「未来を担う子どもたちが希望を持ち生きて

いける地域社会をめざして！」

第10回4月19日(土) ゲストスピーカー 伊藤 篤哉氏 (豊橋市議会議長) 前回4月に語りつくせなかった内容をさらに視点を変え伝えます。テ

ーマは「続 フードビジネスから仕掛けるにぎわいづくり！ースローフードを生かした中心市街地活性化策。みんなで考えてみよう！」



4月はチャレンジド・アート・フェス 全国から作品とミュージシャンがやってくる！！

★第15回とよはし音楽祭 4月12日(土) 開催 13:00～15:30 会場 穂の国とよはし芸術劇場プラットアールスペース

アートコンテストは、全国からノミネートされた15組16名の方が豊橋にやってきます。入場無料 整理券配布中

★第14回アウトサイダーアート2025 豊橋 TOYOHASHI BRUT 会場 豊橋市美術博物館 第3企画展示室 入場無料

期間 4月22日(火)～4月27日(日)

第6回トヨハシブリュットアートコンテスト上位入賞者作品展 第14回一枚のはがきコンテスト上位入賞者作品展 地元作家&全国作家優秀

作品展 ■第6回トヨハシブリュットアートコンテスト表彰式 4月22日(火) 11:00～ まちなかギャラリー企画 WAC アグリカフェ みんなの居笑 WAC+福祉の窓口

期間 4月22日(火)～5月14日(水) 主催 アート2025 豊橋 (N) 福祉住環境地域センター ※詳しくは専用リーフレットをご覧ください。 居住支援フォーラム開催 3月20日 13:30～ 豊橋市民センター(カリアンビル)

コラム

VOL.78 「ふるさとであるこの国をとり戻したい！一隅を照らす！！」

弥生3月、木草弥生月(きくさいやおいづき)草木がますます生い茂る月を意味する今、ふるさとこの国を考えてみたい。春はあけぼのやうやう白くなりゆく山ぎは、少し明かりて、紫だちたる雲の細くたなびきたると続く枕草子、

清少納言である。冬の寒さをしのぎながらも、春はかならずやってくる。物ごとの始まりを示唆している。今も続く地球環境の大変動、その影響をもるにうけた2000年ユーラシア大陸は未曾有の大干ばつにさらされる。難民その数

6000万人とも7000万人ともいわれた。アフガニスタンでは、人口の約半分が影響を受け、餓死線上にある人は100万人を超えていた。もともと緑に覆われ自給自足の生活にあった農村の人々は飢えに苦しむ。こどもたちは亡くなり、若

者は正悪関係なく、兵隊に志願していった。そこに中村哲が医師としていた。中村哲が2019年12月4日凶弾に倒れてから早5年あまり。彼の生み出した「緑の大地計画」用水路の建設は、みごとに大地を緑に変え、多くの飢えを救

い、彼の意志を継いだ仲間たちや地元住民で相互扶助の考えのもと自発的に今も進化を続けている。西政文明は、自分たちの価値感に合わない文明は、根こそぎ壊滅させ、その地域に有史以来培われた文明文化を根絶やしにして

今がある。それがグローバル化とあり、現在の金融資本主義につながっている。一方でダイバシティ共生といひながら、同一化社会が存在し、お金が支配する社会を創り上げてきた。日本はその優等生でもある。お金で支配され、自分

たちの創り上げた文明文化を否定して従属の道を選んできた。もうぼちぼち独立自尊の精神がこの国を、自信をもって進めていく時期に来ているのではないだろうか。アメリカはベトナム戦争で敗れ、イランイラク

戦争で敗れ、アフガニスタンで敗れ、今ウクライナ、イスラエルガサ地区の戦いがある。トランプ大統領は、グローバル化からアメリカ第一主義で舵をきる。中村哲は語る。「アフガニスタンにとって一番の脅威なのは、みんなが食べ

る権利を守るために」と先「緑の大地計画」用水路の建設に賭けた。今、アフガニスタンでは、田舎の農村出身者で作ったタリバン政権が、古い因習を守りながら、自給自足の生活に国民を導いている。一方、アメリカ軍は「人

ていけないこと。衣食足りて礼節を知るといふが、まずみんなが食えることが大切だということ、水、食物の自給こそがアフガニスタンの生命を握る鍵なのだ。医療の限界を感じ、水と清潔な飲料水と十分な食べ物さえあれば、恐

らく8割、9割の人の命を落とさず済んだという苦い経験から干ばつ対策に取組むことを選択した。戦争を止めようという人はいるが、平和を具体的に目に見える形で作った人は彼以外過去にはいな

創り上げる道を医療より先に「緑の大地計画」用水路の建設に賭けた。今、アフガニスタンでは、田舎の農村出身者で作ったタリバン政権が、古い因習を守りながら、自給自足の生活に国民を導いている。一方、アメリカ軍は「人

ど、今後アメリカとの従属関係を見直し、対等な関係を作り上げていく必要があると思う。そのためには、中村哲がアフガニスタンで実践した「一隅を照らす」。「一人ひとりの使命を自覚し、自分の仕事や生活に励むこ

とが人間としての基本であり、一人ひとりがそれぞれの持ち場で最善をつくすことで、まず自分自身を照らす。そしてそれが自然に周囲の人々の心を打ち、響いて行くことで他の人々も照らしていく。そしてお互いに良い

力をはじめ11か国に艦船の給油活動を行った。アジアの国から見れば、日露戦争、第2次世界大戦で英国、アメリカと闘い、その後脅威の経済成長を遂げた日本は、あこがれの的であった。憲法9条がある国で、このような海外派兵

は、アジア、アフリカの国々からは、大きな失望を招いていた。この国の未来も、世界の未来も、ダイバシティ共生にある。アフガニスタンの現実が、傀儡政権ではなく、自分たちの歴史の中にある生活の維持を重ねる

タリバン政権を選択し、自主独立の道を歩みだしている。私たちも、1945年以来失われた日本人の意識と向き合い、日本人として文化と伝統を古いままでなく、残すものは残して、進化するものは進化させて日本をもう一度とり

戻していこうではありませんか。食料自給率100%(現在38%)、日本第一主義を唱えながら、日本における米軍の基地使用・軍事活動などを定めた日米地位協定の具体的な運用を協議するための機関「日米合同委員会」な

年8月公益財団化をめざす「THFF(トヨハシヒガシミカワミライキケン)」そして5月開講の「吉田志塾」を通してこの地域の未来に向かい一隅を照らす。

私たちひとり一人は、小さな力かもしれないが、このふるさと豊橋・東三河を愛する多くの人たちが、ひとり一人のステージで、一隅を照らすことができれば、この地域にも素晴らしい未来が約束されることであろう。前号でも触れた

が今年から10年間は過去に経験したことのない時代の一大転換期となる。ある面で個人の可能性を引き出す大きなチャンスともいえる。ひとり一人が、自分のこころ(潜在意識)に問いかける。自分自身は何者なのかを、何の

ためにここにいるのか。そして自分自身のミッションを知る。それがあなた自身の一隅を照らすことにつながる。私たちWACNETも、仲間と共に今、昨年7月スタートの「豊橋・東三河まちづくりデザイン会議」今

加藤政実

WACNET. RECRUIT 2025

誰ひとり取り残さない 地域社会をつくりたい！！

愛は国境を超えていく 地域のしあわせ 世界のしあわせ みんなのしあわせ！！

WACNET.で働いてみませんか！！ ミライを創る。専門職を募集します。既成概念にとらわれず、地域社会を変える 活動に参加しませんか。

<募集スタッフ>
サービス管理責任者・サービス提供責任者・相談支援専門員・ケアマネジャー・看護師・OT・社会福祉士・精神保健福祉士・保育士・管理栄養士・調理師
事前予約は0532-52-4315 担当 戸田、伊奈まで

住宅型有料老人ホーム 西みゆきの郷

WAC NET.

部屋代 管理費 共益費 光熱費 食費 込 125,000円～
〒441-8113 豊橋市西幸町字古並 180 番地 2

見学予約 入居者募集中！
お問合せ TEL 0532-45-5727 FAX 0532-56-0702 担当：丸山

安全安心な自然食ランチをお楽しみ下さい

予約制

健康の泉 水素水 無料提供 ※ボトル1000円/本 初回は必要となります！

MENU	価格(税込)
・コーヒー (HOT・ICE)	500円
・ティー (HOT・ICE)	500円
・ソフトドリンク (オレンジ・リンゴ等)	600円
・ハーブティー (HOT・ICE)	600円
・カレーランチ (ドリンク付)	1500円

WAC agricafe
〒440-0823 豊橋市南瓦町 14-1 TEL 0532-52-4315

とが人間としての基本であり、一人ひとりがそれぞれの持ち場で最善をつくすことで、まず自分自身を照らす。そしてそれが自然に周囲の人々の心を打ち、響いて行くことで他の人々も照らしていく。そしてお互いに良い影響を与え合い、やがて社会全体が明るく照らされていく。”(最澄)

おひさま保育園

「働き方改革」私たちは働く女性たちを応援します！
0才児 36,000円 1・2才児 35,000円
空きがあれば即利用可！ 園児募集！ 1才児～就学前の児童→病児保育あり
開園時間 月曜～日曜 毎日7:30～18:30
豊橋市瓦町2丁目7-7(1号線瓦町旧呉病院) ☎61-8101 又は 52-4315 件